大学コンソーシアム大阪 SD研修プログラム シラバス

プログラム名	2026(令和8)年度 管理職者SD研修 「現場で生じる問題解決の実践～組織運営で生じる課題を読み解く～」
実施日時	2026年11月18日（水） 14:00 ～ 17:00　情報交換会17:00～17:30
実施会場	キャンパスポート大阪
担当講師名	統括講師：竹中 喜一 氏（近畿大学 IR・教育支援センター 准教授） 講師：佐藤 浩輔（大阪体育大学 庶務部学長室担当） 清村 雅人氏（追手門学院大学 総務部 人事課）
受講可能人数	30名（最少実施人数6名）
主な受講対象者	管理職（課長補佐相当以上）の大学職員<所属部署不問>
プログラム概要（目的）	大学職員の管理職は、部局運営の統括、チームマネジメント、制度運用の判断など、多面的な役割が求められます。また、制度や文化、慣行が交差する大学組織の中で、複数の観点から問題を捉える力が重要になります。大学の現場で生じる問題の多くは、一つの部署だけでは解決することが難しく、部署間の連携や情報共有が重要になります。今年度の管理職者SD研修では、実践知やナレッジマネジメント等の考え方を手がかりとして、管理職が現場の問題をどのように捉え、判断し、対応しているのかを考えます。ケース教材を用いたグループワークを通して、自身の経験の中で培われた判断基準や問題解決の方法を「実践知」として棚卸しするとともに、異なる部署・立場からの問題の見え方を比較します。さらに、個人や部署が持つ実践知を組織内で共有し、部署間の連携と継続的な問題解決につなげる方法について検討します。
プログラムの到達目標	(1) 現場で生じる問題を、個人だけに原因を求めず、組織構造など複数の観点で 捉えることができる。 (2) 業務における判断基準や問題解決に関する実践知を整理し、言語化することができる。 (3) 個人や部署が持つ実践知を共有し、部署間の連携や情報共有を促進する方法を 考えることができる。
プログラム内容	時間（180分）　内　容 1　14:00～14:05　オープニング：開会のご挨拶 2　14:05～14:10　イントロダクション：スケジュール確認・目的／目標の確認 3　14:10～14:20　イントロダクション：アイスブレイク（自己紹介等） 4　14:20～14:35　導入説明：管理職が直面する問題の特徴とその問題を捉えるための理論・枠組み 5　14:35～14:40　導入説明：ケースの進め方 6　14:40～14:50　個人ワーク1：ケースの読み込み 7　14:50～15:25　グループ討議①「ケースの中で何が起きていたのかを整理する」 8　15:25～15:35　休憩 9　15:35～16:10　グループ討議②「対応すべきことの整理とアプローチ方法の検討」 10　16:10～16:30　全体共有 11　16:30～16:45　個人ワーク2：アクションプラン作成 12　16:45～16:50　相互共有：ペアでアクションプランを共有 13　16:50～16:55　クロージング：本研修のまとめ 14　16:55～17:00　閉会のご挨拶 ※終了後、17:00～情報交換会
事前課題	特になし
事後課題	受講者アンケートにご回答をお願いいたします。
参加費	会員大学関係者…無料　非会員大学関係者…2,500円